

(様式第1号)

記入例

五泉市マイホーム等建設支援事業支援金交付申請兼実績報告書

令和 年 月 日

五泉市長 様

〒

申請者 住所
氏名
電話

五泉市マイホーム等建設支援事業支援金について、五泉市マイホーム等建設支援事業支援金交付規程第5条第1項の規定により、下記のとおり関係書類を添えて交付くださるよう申請します。

また、併せて実績を報告します。

記

次頁の「支援金」欄に記入した金額を記入。

1 支援金交付申請額 金 円

2 事業完了年月日 令和 年 月 日

次頁の「完成」欄に記入した日付を記入。

3 事業計画兼実績

事業概要	工事種別	□新築 □改築		
	住宅の建設を必要とする理由	1 住宅が老朽した 4 世帯分離		
	床面積	1階 m ²	2階 m ²	
	用途別面積	住宅部分 m ²	非住宅部分 m ² 住宅割 %	
	資金	A 住宅借入金		円
		B その他（自己資金等）		円
		C 建設費（取得費）		円
	計画	A 住宅借入金の内容		
		金融機関名	①	②
		借入実行日	令和 年 月 日	令和
償還期間		年		
		円	円	
	%	住宅専用部分の 工事費 D	円	
工期	着手	令和 年 月 日	完成 令和 年 月 日	
住宅取得に要した費用（D）			円	
支援金	増築	*100,000円+（D-1,000,000）× （1,000円未満切捨て）		
	新築・改築	*100,000円+（D-1,000,000）× （1,000円未満切捨て）		
計算の結果、補助上限額を超える場合は、補助上限額を記入。		私は、五泉市マイホーム等建設支援事業支援金交付に必要な事項として、「市税納税状況」「所得状況」「住民登録」及び必要に応じて行う現地調査等について、当該事業の所管職員が確認する事について同意します。 氏名		

C 建設費は見積書、建築請負契約書に記載の総額を記入。
なお、 $A+B \geq C$ となっていること。

外構、車庫、倉庫等の非住宅部分に係る工事費（税込）を総額から除いた金額を記入。

上段の「住宅専用部分の工事費D」欄と同額を記入。

建築完了検査済証または住宅の取得を証する引渡書に記載された日付を記入。

計算の結果、補助上限額を超える場合は、補助上限額を記入。

- (注) 1 該当する項目を○で囲む。
2 住宅購入の場合は、工期の着手年月日欄は不要。
3 支援金の額は、*の計算式により算定すること。

4 添付書類

- 金銭消費貸借契約書の写し
- 建築確認済証の写し（無い場合は、建築の確認ができる書面）及び図面
- 建築完了検査済証の写し（無い場合は、完了を証する引渡書の写し）
- 建築請負契約書の写し。購入の場合は売買契約書の写し、元請業者が市外の場合は住宅建設工事施工証明書
- 見積書の写し（総括表）